

社会「かわる道具とくらし」 ～七輪・洗濯板体験～



3月12日(木)七輪と洗濯板を使った体験活動を行いました。洗濯板体験では「水が冷たくて辛い」「家族全員分を洗濯するのは無理」と語り、七輪体験では「焼くのが難しい」「手間暇かけた分おいしい」と語っていました。体験を通して、今の道具の便利さを再確認するとともに、先人の知恵の素晴らしさを実感することができました。

ボランティアの皆様の手厚いサポートにより、安全かつ学びの多い、貴重な体験を行うことができました。御協力ありがとうございました。

国語・社会の学習をつなげて… 国語「川をつなぐちえ」社会「かわる道具とくらし」



社会科では、道具の変化の背景や経緯について詳しく調べました。国語科では、事実と理由を整理して書くなど、分かりやすく伝えるための文章構成について学びました。

これらの学びを生かし、学習の締めくくりとして、その時代を生きる人々の思いに迫りながら、先人の知恵、道具と暮らしの変化について一人ひとりが文章にまとめました。道具が変化してきた理由を自ら解き明かすとともに、その素晴らしさについて文章で伝えることができました。